

西宮市の決算の概要  
～平成30年度版～

令和元年8月

西宮市 政策局 財政部 財政課

## 目次

---

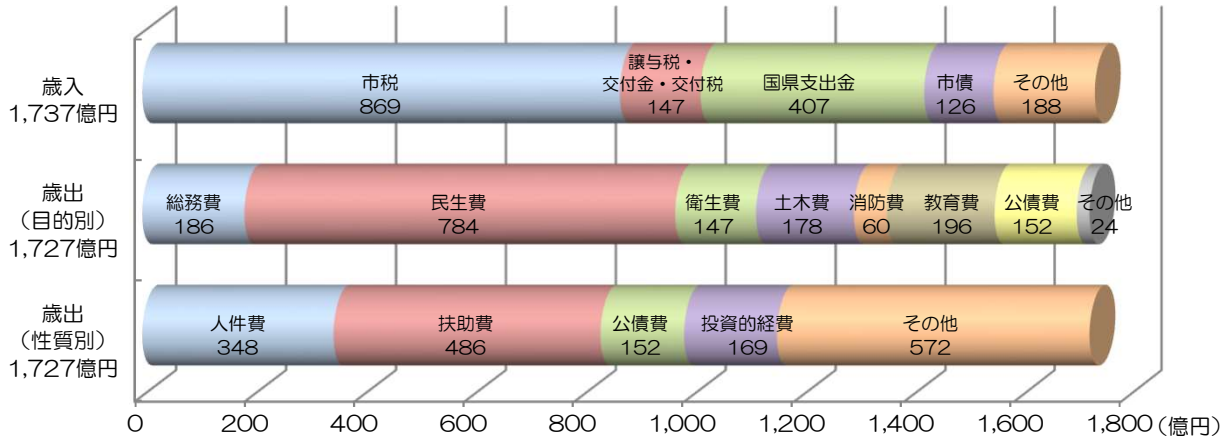
1.	決算の概要	1
2.	歳入の状況	2
3.	市税の状況	3
4.	歳出の状況	
	(1) 目的別	4
	(2) 性質別	5
5.	特別会計の決算状況	6
6.	西宮市の貯金（基金）	6
7.	西宮市の借金（市債）	
	(1) 市債の元金返済額と借入額の推移	7
	(2) 市債現在高の推移	7
8.	投資的事業の状況	8
9.	目的税等の使途	
	(1) 目的税	9
	(2) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分	11
10.	主な財政指標	
	(1) 経常収支比率	12
	(2) 財政力指数	13
11.	市民一人あたりの決算額	
	(1) 歳入	14
	(2) 歳出	14
	(3) 市債残高および基金残高	14

# 1. 決算の概要

## Point!

歳入から歳出を差し引いた9億8千万円から、翌年度に繰り越した事業の財源（2億7千万円）を引いた7億1千万円が実質的な剰余金となります。

### 平成30年度一般会計決算状況



H30年度は、「持続可能な文教住宅都市」の実現を目指して、保育所等の待機児童対策や公共施設の老朽化対策などを実施しました。

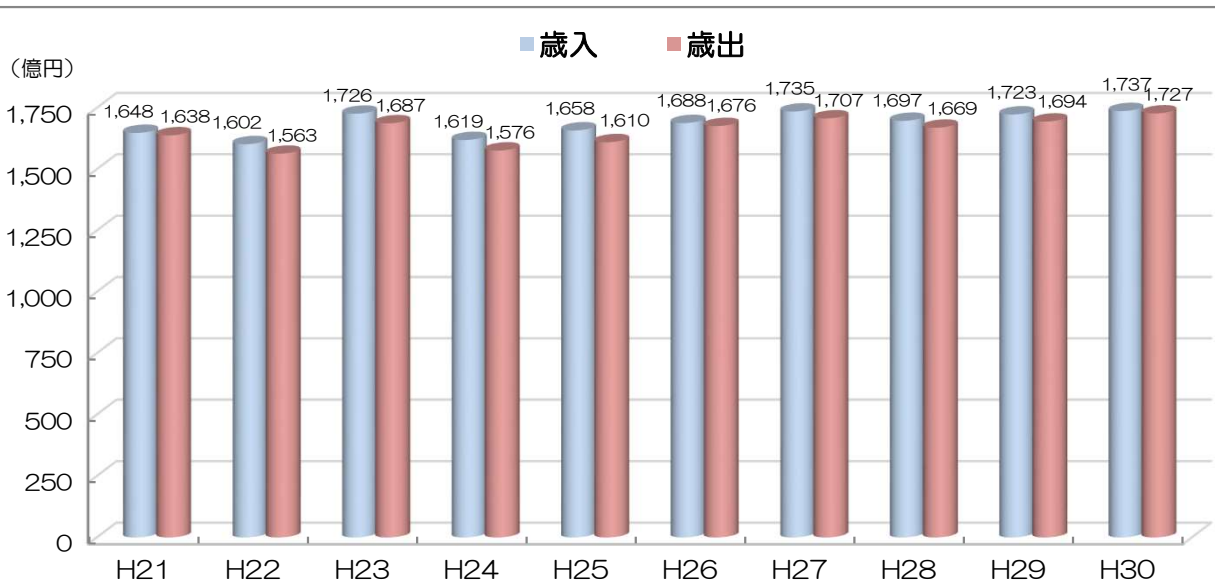
一般会計の決算額については、扶助費や物件費は減額となりましたが、公共施設の建て替えなどの投資的経費が大幅に増額となったことにより、歳入・歳出ともに前年度決算額を上回りました。

歳入では、土地や株式の譲渡所得の増により個人市民税が増収となったことで、市税収入が増額となりましたが、その影響などにより地方交付税は減額となりました。一方で、投資的経費の増に伴って市債が増額となっています。

また、歳出では、市民課天井耐震化工事や第二庁舎（危機管理センター）新築工事の進捗などにより総務費が増となったほか、道路照明灯のLED化工事などにより土木費が増となったため、前年度に比べ増額となっています。

なお、当年度は、前年度に引き続き、市の貯金である財政基金の取り崩しをすることなく実質収支の黒字を確保することができました。実質収支の1/2（3億6千万円）は財政基金に積み立て、残りの1/2はR元年度の財源として活用します。

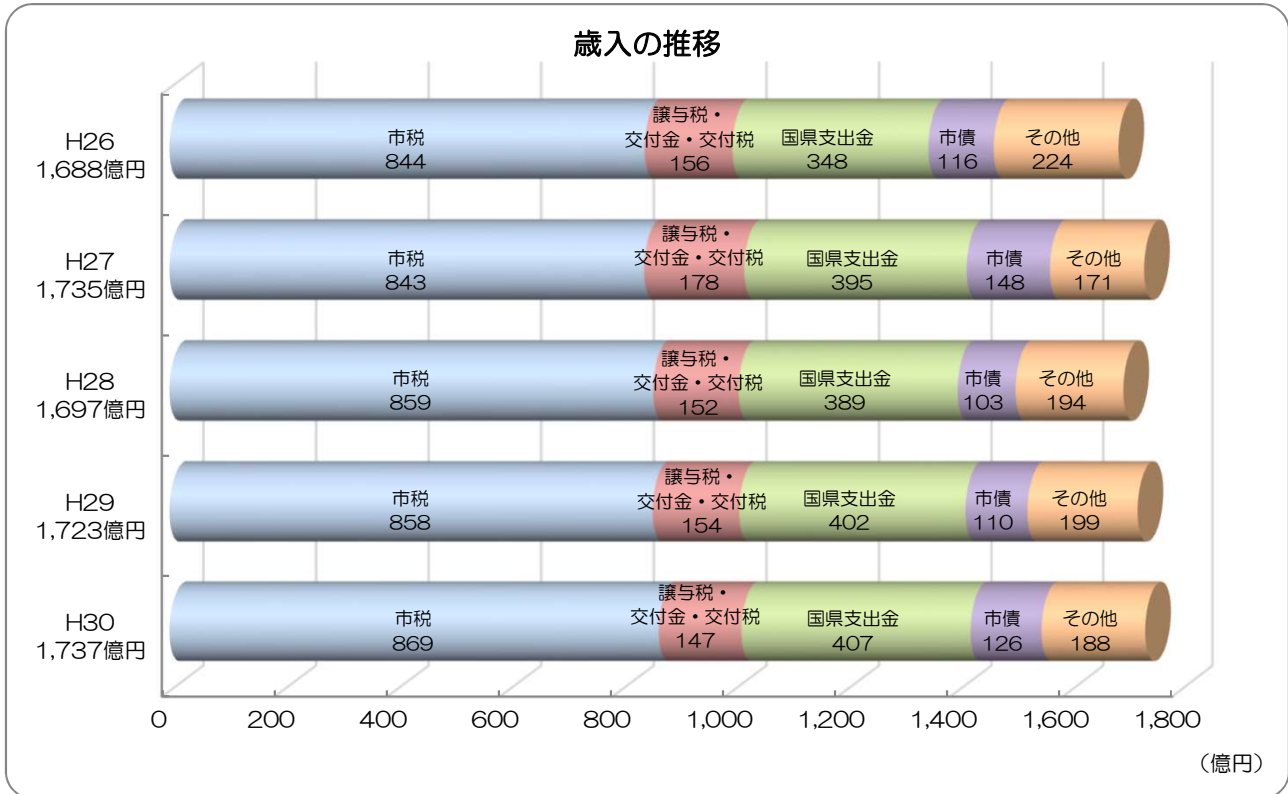
過去10年間の一般会計における歳入歳出決算額の推移は以下のとおりです。



## 2. 歳入の状況

### Point!

市税収入が歳入全体の50.0%を占めています。また、市税などの増に伴って、地方交付税が減となっています。



＜市 税＞ 土地や株式の譲渡所得の増による個人市民税の増収などにより、前年度に比べ11億3千万円の増額となっています。

＜譲与税・交付金・交付税＞

地方消費税交付金は増額となりましたが、地方交付税が市民税所得割の増などに伴って減額となりました。また、配当割交付金や株式等譲渡所得割交付金などが減額となったため、総額では、前年度に比べ6億8千万円の減額となっています。

＜国県支出金＞

臨時福祉給付金（経済対策分）の事業終了などに伴い国庫支出金が減額となった一方で、民間保育所の新設補助に伴う子育て支援特別対策事業費の増などにより県支出金が増額となったため、前年度に比べ4億9千万円の増額となっています。

＜市 債＞ 道路照明灯のLED化工事や香榎園小学校校舎改築工事の増などにより、前年度に比べ16億1千万円の増額となっています。

＜その他＞ 前年度に返還のあった兵庫県道路公社貸付金が減となったことで、諸収入が大幅に減となったため、前年度に比べ11億5千万円の減額となっています。

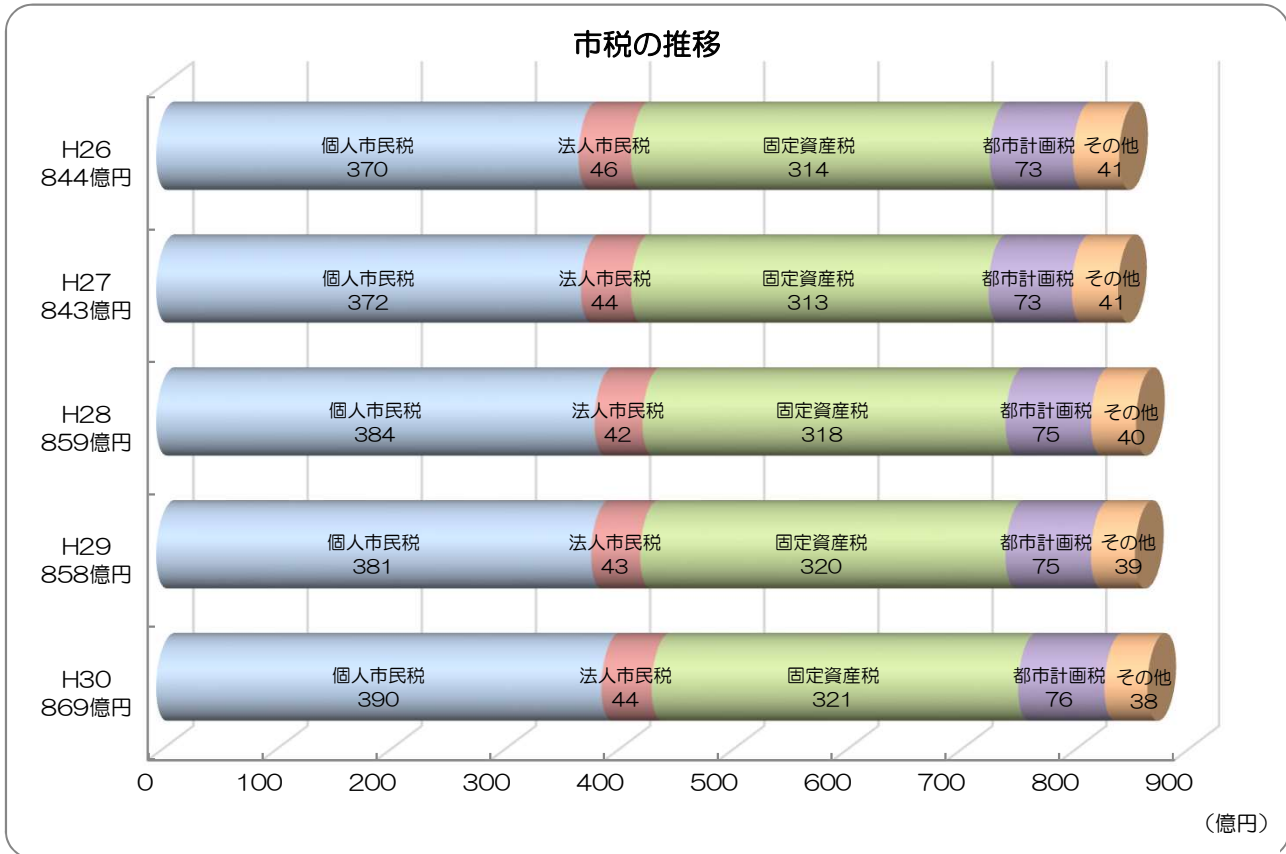
～用語解説～

譲与税・交付金・交付税・・・国税（自動車重量税など）や県税（地方消費税や自動車取得税など）として収入されたもののうち、市に一定割合が配分される収入や地方交付税などのことです。

### 3. 市税の状況

#### Point!

市たばこ税や事業所税は減となりましたが、個人市民税が2年ぶりに増となったため、市税全体では増となりました。



※その他は市たばこ税・事業所税・軽自動車税・入湯税・特別土地保有税。

#### <個人市民税>

今年度も他自治体へのふるさと納税の影響による減はありましたが、土地や株式の譲渡所得に係る住民税が増加したことで、全体としては前年度に比べ9億5千万円の増額となっています。

#### <法人市民税>

企業が業績を維持したことにより、前年度に比べ6千万円の増額となっています。

#### <固定資産税及び都市計画税>

評価替えに伴う土地評価額の増により、固定資産税は前年度に比べ1億1千万円の増額、都市計画税は前年度に比べ8千万円の増額となっています。

#### <その他>

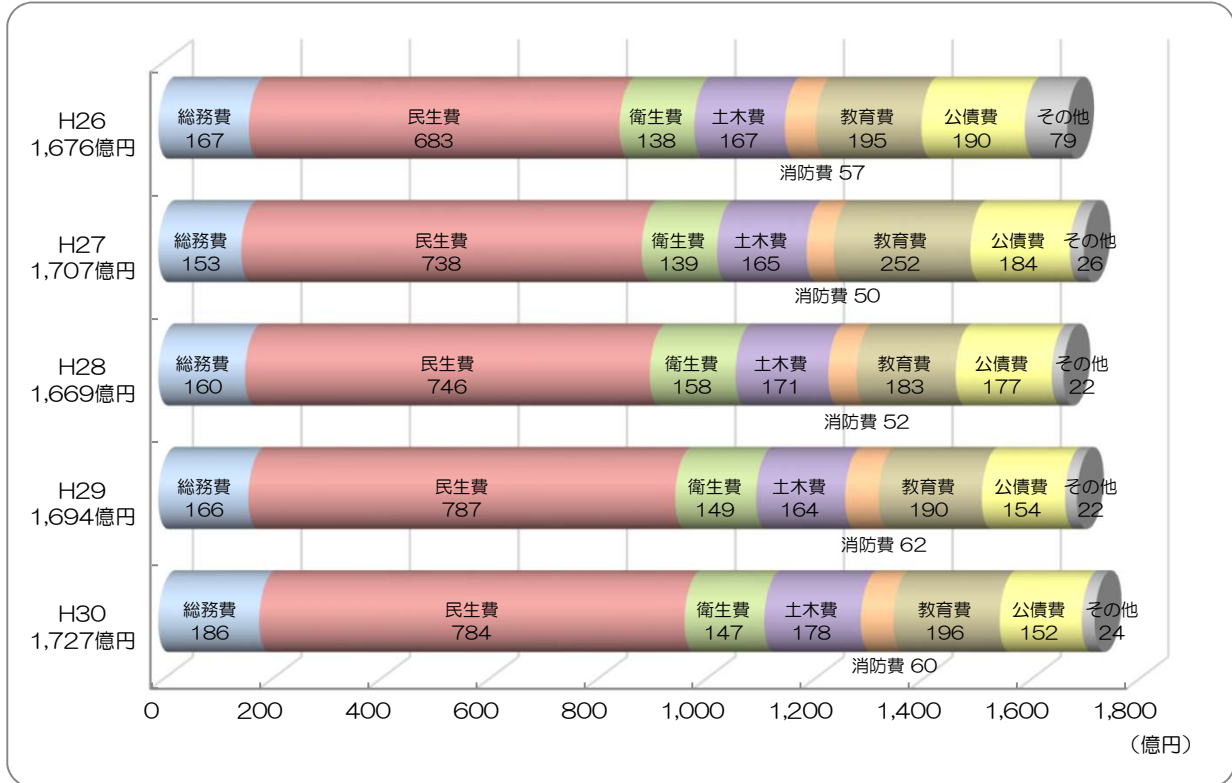
市たばこ税については、売渡し本数の減により、前年度に比べ5千万円の減額となりました。

## 4. 歳出の状況

(1) 目的別

### Point!

歳出の状況を目的別に見てみると、民生費が減っていますが、これは臨時福祉給付金の終了によるもので、その他の社会保障関係経費は年々増加傾向にあります。また、公債費（借金の返済）の減り幅も縮小し、今後は大きな減少が見込めない状況となっています。



＜総務費＞ 市民課天井耐震化工事などによる庁舎改修事業費の増や、第二庁舎（危機管理センター）新築工事の進捗により、前年度に比べ20億2千万円の増額となっています。

＜民生費＞ 民間保育所等整備事業費や、障害者介護給付費等事業経費が増となっていますが、臨時福祉給付金（経済対策分）が終了したことにより、前年度に比べ2億3千万円の減額となっています。

＜衛生費＞ 病院事業会計への補助金が増となりましたが、西部総合処理センター基幹設備更新事業の完了により、前年度に比べ2億9千万円の減額となっています。

＜土木費＞ 道路照明灯のLED化工事などによる道路橋梁新設改良事業費の増や、市営住宅整備事業費の増により、前年度に比べ14億7千万円の増額となっています。

＜消防費＞ 消防庁舎等整備事業費の減などにより、前年度に比べ1億9千万円の減額となっています。

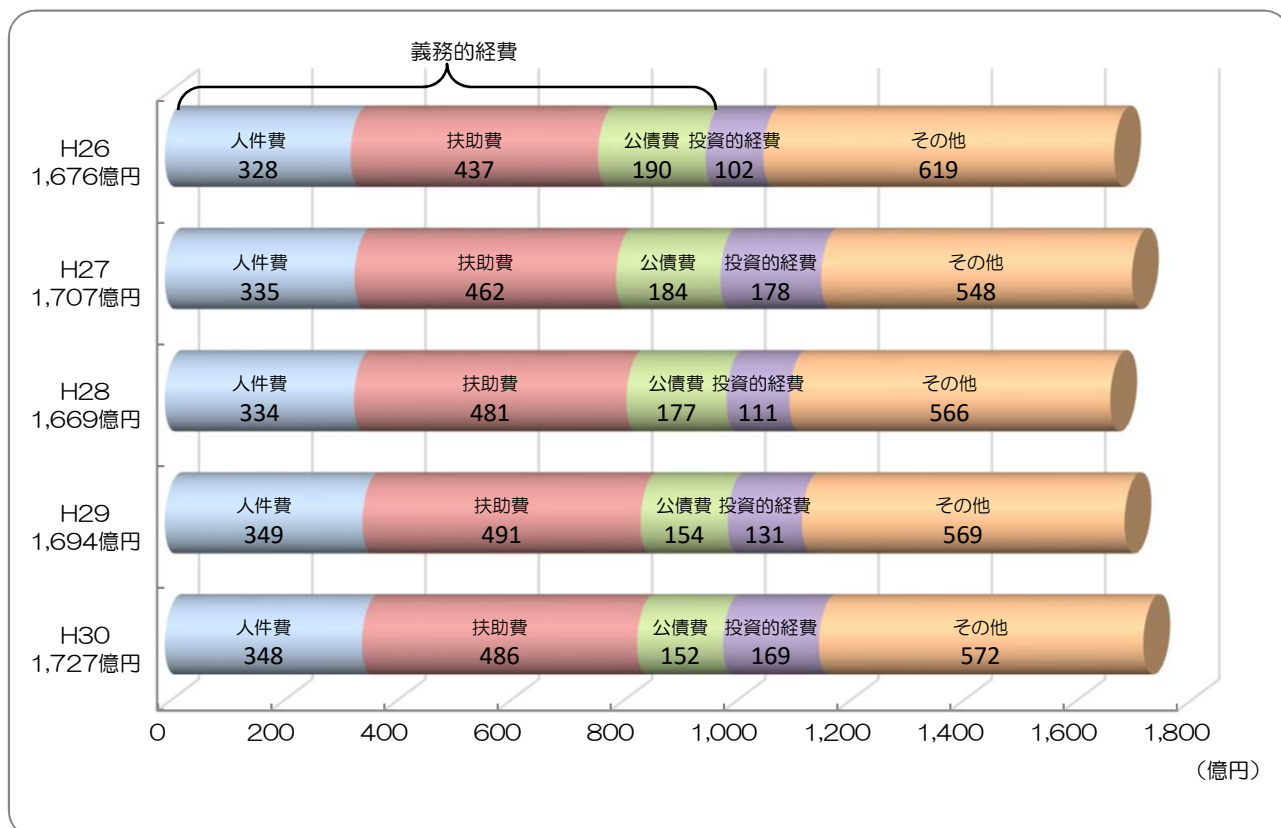
＜教育費＞ 香榎園小学校校舎改築工事や西宮東高校ホールの改修工事などによる学校整備費の増により、前年度に比べ6億5千万円の増額となっています。

＜公債費＞ 市債の未償還残高の減少に伴い、長期債等利子が減となったことにより、前年度に比べ2億円の減額となっています。

(2) 性質別

**Point!**

歳出の状況を性質別に見てみると、人件費や扶助費が臨時的な要因により減となりました。一方、投資的経費は、道路照明灯のLED化工事や小学校の改築工事などにより、増となっています。



<人件費> 職員数の増や人事院勧告に基づく給与改定による増がありましたが、退職手当が大幅に減となったことにより、総額では前年度に比べ1億6千万円の減額となっています。

<扶助費> 保育施設への給付費や障害者介護給付費等が増となっていますが、臨時福祉給付金（経済対策分）の事業が終了したことなどにより、前年度に比べ5億1千万円の減額となっています。

<公債費> 市債の未償還残高の減少に伴い、長期債等利子が減となったことにより、前年度に比べ2億円の減額となっています。

<投資的経費>

西部総合処理センター基幹設備更新事業の終了による減がありましたが、道路橋梁新設改良事業や香櫨園小学校教育環境整備事業の増などにより全体で3億8千万円の増額となっています。

<その他> 市営住宅等管理委託料などが減となりましたが、病院事業会計への補助金や出資金の増などにより、前年度に比べ3億5千万円の増額となっています。

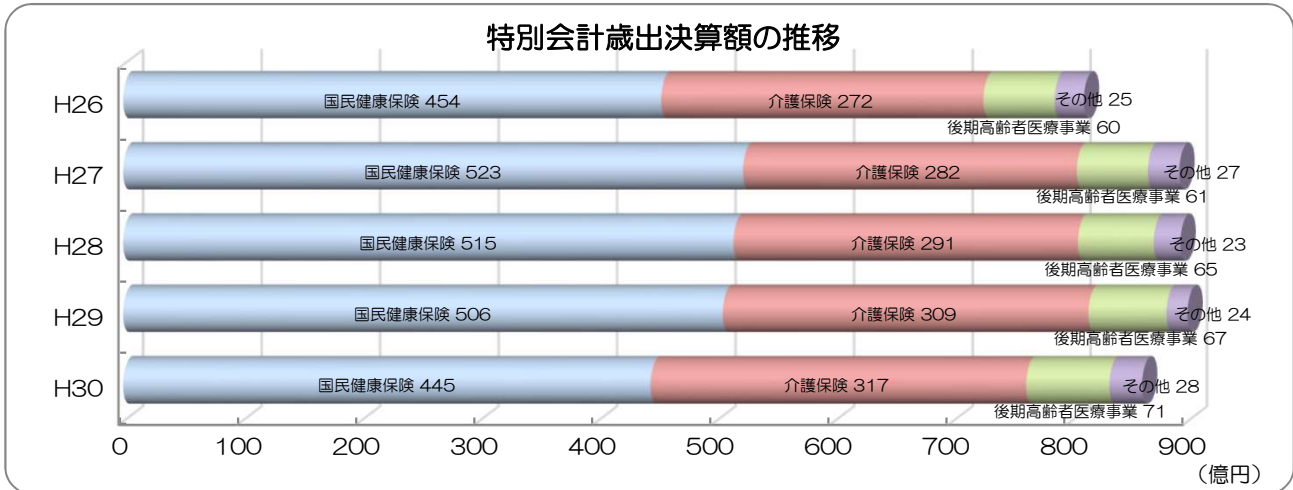
～用語解説～

義務的経費・・・人件費、扶助費、公債費からなるもので、毎年度の支出が義務付けられており、容易に減らすことができない経費のことです。

※なお、義務的経費の割合が大きくなると、新しいサービスや公共施設の建設などが難しくなります。

## 5. 特別会計の決算状況

国民健康保険特別会計は、財政運営の責任主体が都道府県に移行したことなどにより、前年度に比べ61億円（12.1%）の減となった一方で、介護保険特別会計は、サービス利用者の増加に伴い、前年度に比べ7億9千万円（2.6%）の増となりました。また、後期高齢者医療事業特別会計は、被保険者数の増加により前年度に比べ3億8千万円（5.6%）の増となりました。なお、特別会計全体では45億3千万円（5.0%）の減となっています。

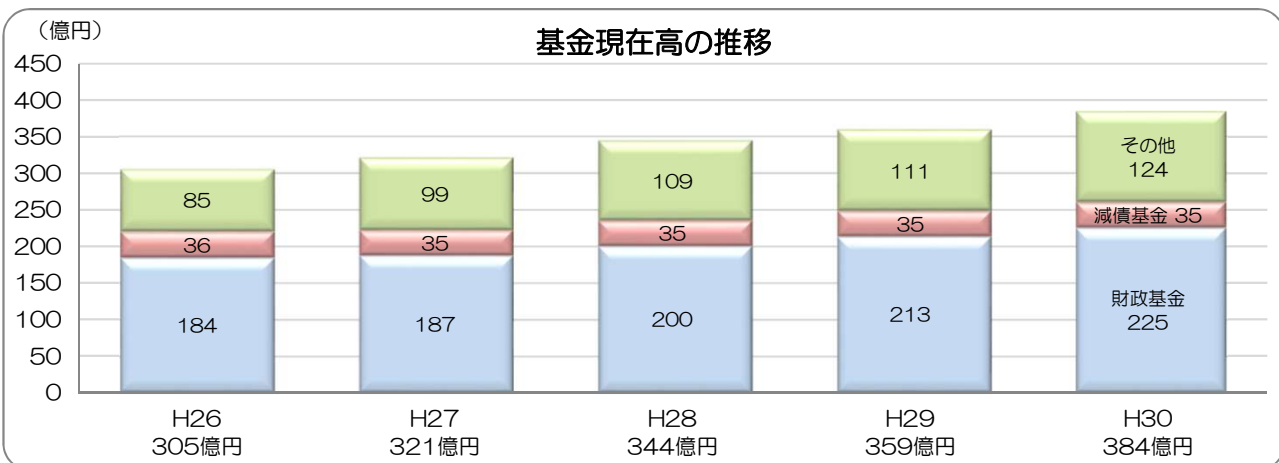


～用語解説～

特別会計・・・特定の目的のための会計で保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。西宮市には11の特別会計があります。(H30末時点)

## 6. 西宮市の貯金（基金）

市の貯金は「基金」と呼ばれています。H30年度末の基金現在高は384億円で、前年度に比べ25億円の増となっています。これは、決算上生じた剰余金等から財政基金に12億2千万円を積み立てたほか、公共施設保全積立基金に6億円を積み立てたことなどによるものです。



※一般会計、特別会計の基金合計額。

～用語解説～

財政基金・・・災害復旧など、財源不足が生じたときに取り崩すことを目的として設置している基金です。

減債基金・・・市債の償還（返済）等に必要な財源を確保するために設置している基金です。



## 7. 西宮市の借金（市債）

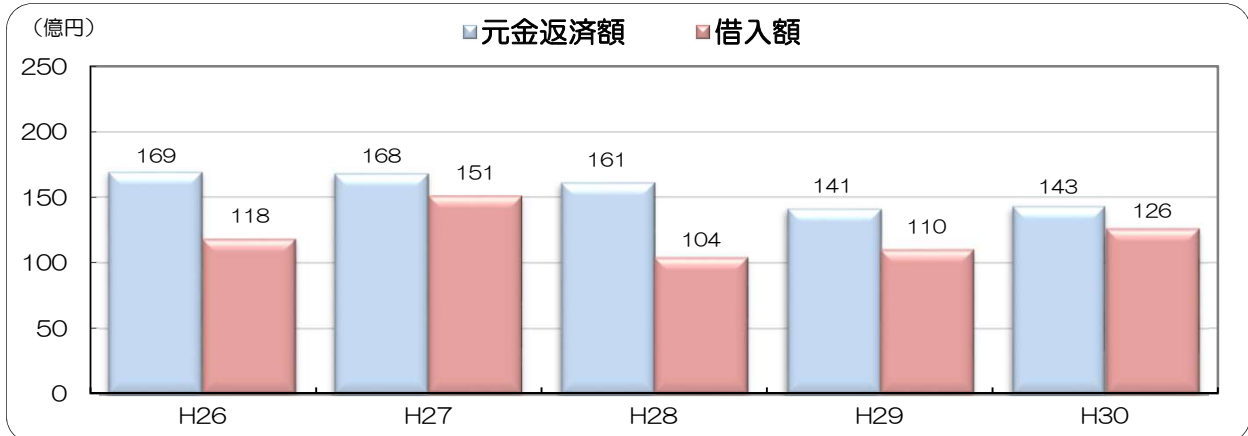
### Point!

借入金の元金返済以上に借金をしないことで、市債残高を減らし、財政健全化を図っています。

学校や道路などの公共施設の整備などで金融機関などから長期的に借り入れる市の借金のことを市債といいますが、

公共施設を整備するには一時的に多額の費用が必要になります。建設した年度だけでなく、その後長期間にわたりその施設を利用することから、市債を活用して建設費を複数年かけて返済していくことで、現在の市民と将来の市民の「世代間負担の公平」を図っています。

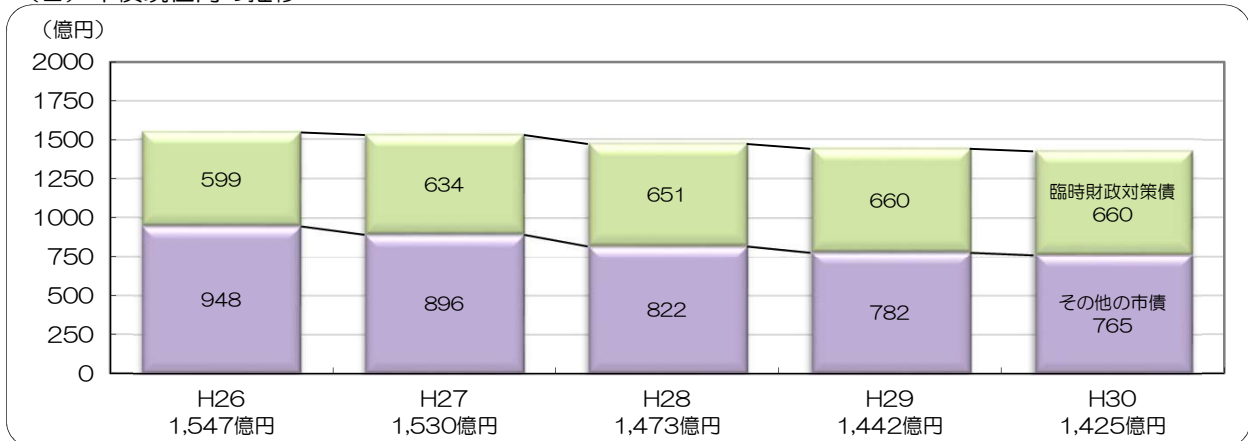
#### (1) 市債の元金返済額と借入額の推移



※一般会計、特別会計の合計額で、借換債を含む。

H30年度の元金返済額は143億2千万円で、前年度に比べ2億5千万円の増となっています。震災復興事業のために借り入れた借金のうち、一部の返済が前年度で終了したことによる減はありましたが、臨時財政対策債の返済額の増や、第二庁舎（危機管理センター）建設用地を先行取得するために、H27年度に借り入れた市債の一括返済があったことにより全体では増となりました。

#### (2) 市債現在高の推移



※一般会計、特別会計の合計額。

H30年度末での市債現在高は1,425億2千万円となっています。前年度末に比べ旧高須東小学校の解体や第二庁舎（危機管理センター）新築工事などにより総務債が15億9千万円の増となりましたが、主に震災復興に伴う区画整理などの借金返済が進んだことにより、全体では16億6千万円の減となりました。

#### ～用語解説～

臨時財政対策債・・・国から地方公共団体に交付する地方交付税の原資が足りないために、不足分の一部をいったん地方公共団体が借金をして賄う地方債のことです。H13年度から導入され、他の地方債と違い、建物の建設などに限らず自由に使うことができ、その返済額が翌年度以降の地方交付税で賄われることとなっています。

## 8. 投資的事業の状況

投資的事業とは、道路・公園・学校・公営住宅の建設など社会資本の整備や、災害によって被害を受けた施設等を復旧するための事業です。

事業費は一般会計、特別会計あわせて約170億円で、前年度に比べ39億円の増額となっています。

投資的事業の事業費と財源内訳

(単位：千円)

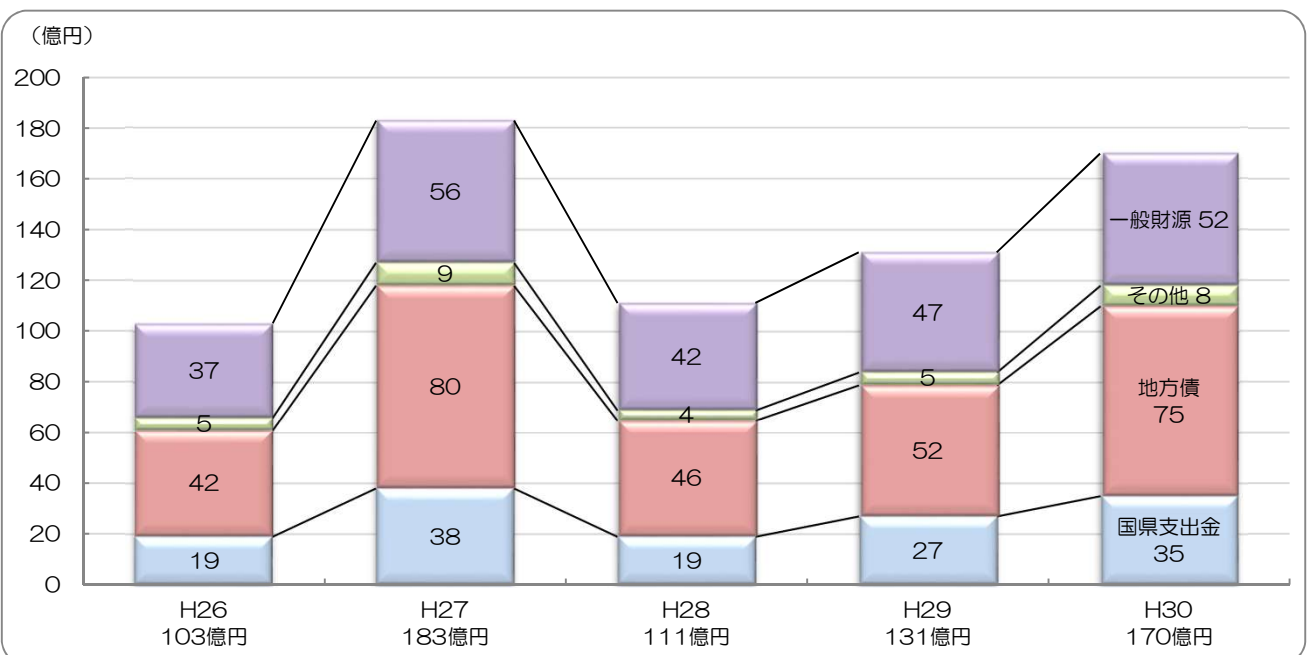
区 分	事 業 費	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
一 般 会 計	16,917,350	3,545,523	7,438,800	749,098	5,183,929
特 別 会 計	120,868	1,944	59,800	11,645	47,479
合 計	17,038,218	3,547,467	7,498,600	760,743	5,231,408

主な投資的事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
道路橋梁新設改良事業	1,991,086	西178号線拡幅に伴う護岸前出し工事を行ったほか、老朽化した防護柵や道路照明灯柱などの道路附属施設の更新や、CO2排出の低減と省エネルギー化による電気料金などの保守管理費の削減を目的とした道路照明灯のLED化を行いました。また、長寿命化修繕計画に基づき、傷んだ橋梁や横断歩道橋の修繕工事などを行いました。
学校施設整備事業	1,714,688	小学校施設では、2校でプール改修工事、2校でサッシ改修工事、6校でトイレ改修工事、16校でコンクリートブロック塀緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。中学校施設では、2校で外壁改修工事、2校で受変電設備更新工事、12校でコンクリートブロック塀緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。特別支援学校施設では、西宮養護学校でコンクリートブロック塀緊急対応工事を行いました。高等学校施設では、西宮東高校ホールで天井耐震化工事及び改修工事、その他各種改修工事を行いました。幼稚園施設では、3園で空調設備の設置工事、3園でコンクリートブロック塀緊急対応工事を行いました。
民間保育所等整備事業	1,660,201	増大する保育需要に対応するため、新設する保育所7カ所、幼保連携型認定こども園2カ所、小規模保育事業1カ所、送迎保育ステーション1カ所及び建替える幼保連携型認定こども園1カ所の整備に対する補助を行いました。
学校教育環境整備事業	1,125,235	香櫨園小学校では校舎増改築工事を実施し、春風小学校では基本設計・実施設計が完了しました。また、安井小学校では基本計画の策定及び基本設計・実施設計に着手し、瓦木中学校では基本計画に着手しました。

H26年度からH30年度の総事業費及び財源の推移は以下のとおりです。なお、H27年度は、高木北小学校新設事業や南甲子園及び上甲子園小学校校舎等増改築事業を実施したことにより大きく膨らみました。H30年度は、道路照明灯のLED化工事や護岸前出し工事等の道路橋梁新設改良事業などにより増額となりました。



## 9. 目的税等の使途

### (1) 目的税

租税の中で、一定の政策目的を達成するために使途を限定して課税されるものを目的税といいます。西宮市では、都市計画税、入湯税、事業所税の3つの目的税があります。

#### 【都市計画税】

歳入決算額 7,598,896千円

都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり公園整備事業や下水道事業、関連する公債費（借金の返済）などに充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					うち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
土木費	都市計画総務費	289,190	7,985	0	0	281,205	269,914
	街路事業費	858,054	408,444	23,900	38,816	386,894	371,360
	区画整理事業費	126,871	2,695	9,900	1,263	113,013	108,475
	公園整備費	947,417	104,000	29,800	0	813,617	780,949
	下水道事業費	3,718,391	0	0	0	3,718,391	3,569,093
公債費	元金	2,445,354	0	0	0	2,445,354	2,347,169
	利子	158,291	0	0	0	158,291	151,936
合計	8,543,568	523,124	63,600	40,079	7,916,765	7,598,896	

#### 【入湯税】

歳入決算額 16,731千円

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備、観光の振興に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり消防施設の整備や観光の振興などに充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					うち 入湯税 充当額
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
衛生費	清掃工場費	150,725	0	0	0	150,725	5,435
商工費	観光費	45,711	4,673	0	0	41,038	1,480
消防費	消防費	4,168	0	0	0	4,168	150
	消防施設整備費	1,018,538	11,277	739,200	0	268,061	9,666
合計		1,219,142	15,950	739,200	0	463,992	16,731

【事業所税】

歳入決算額 1,330,134千円

事業所税は、人口、企業が都市部に集中することによって発生する交通問題やごみ処理問題などの解決を図る等、都市環境の整備に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり教育文化施設、社会福祉施設等の整備に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 事業所税 充当額	
総務費	大学交流センター整備費	72,404	0	0	0	72,404	38,621
	平和資料館整備費	23	0	0	0	23	12
	市民文化施設整備費	276,679	0	124,000	0	152,679	81,441
	運動施設整備費	232,484	0	167,700	17,523	47,261	25,210
民生費	社会福祉施設整備費	143,358	0	112,000	0	31,358	16,727
	老人福祉施設整備費	116,882	6,882	6,700	11,204	92,096	49,126
	児童福祉施設整備費	2,607,902	1,623,919	560,500	106,932	316,551	168,852
	障害福祉施設整備費	51,617	0	37,500	0	14,117	7,530
衛生費	保健衛生施設整備費	96,156	0	0	0	96,156	51,291
	環境施設整備費	21,017	0	15,700	0	5,317	2,836
教育費	学校整備費	3,387,839	325,663	1,812,800	49,474	1,199,902	640,044
	幼稚園整備費	35,651	1,950	25,900	0	7,801	4,161
	社会教育施設整備費	34,808	0	21,900	0	12,908	6,886
	公民館整備費	104,664	0	64,400	10,600	29,664	15,823
	図書館整備費	208,820	0	14,600	0	194,220	103,600
	青少年教育施設整備費	5,518	0	0	0	5,518	2,943
	給食施設整備費	90,970	0	0	0	90,970	48,525
小計	7,486,792	1,958,414	2,963,700	195,733	2,368,945	1,263,628	
徴税費	66,506	0	0	0	66,506	66,506	
合計	7,553,298	1,958,414	2,963,700	195,733	2,435,451	1,330,134	

(2) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分

H26年4月から引き上げられた地方消費税の増収分は、社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）その他社会保障施策に要する経費に充当することとされています。

地方消費税交付金 歳入決算額 7,927,772千円  
 （うち消費税率の引上げによる増収分（社会保障財源化分） 3,529,222千円）

社会保障施策とは

- ①社会福祉・・・生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など
- ②社会保険・・・国民健康保険、介護保険、年金など
- ③保健衛生・・・医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策などのことをいいます。西宮市では以下のとおり充当しています。

(単位：千円)

区分	予算科目	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	その他	一般財源	うち引上げ分の地方消費税交付金
社会福祉	民生費 児童福祉総務費	51,305	7,399	759	43,147	459
	児童保育費	8,220,070	4,289,391	1,117,508	2,813,171	394,349
	子育て総合センター費	85,057	20,823	81	64,153	6,630
	児童育成費	1,404,192	419,145	320,536	664,511	89,791
	障害援護費	10,439,933	8,218,567	874	2,220,492	428,723
	生活保護扶助費	14,166,785	10,759,356	208,371	3,199,058	643,336
	小計	34,367,342	23,714,681	1,648,129	9,004,532	1,563,288
社会保険	民生費 国民健康保険事業費	4,666,100	1,772,795	0	2,893,305	423,254
	介護保険事業費	4,591,465	57,516	16	4,533,933	781,593
	後期高齢者医療事業費	1,352,580	697,449	0	655,131	46,753
	小計	10,610,145	2,527,760	16	8,082,369	1,251,600
保健衛生	民生費 医療福祉費	2,881,836	749,796	156,384	1,975,656	325,235
	衛生費 保健所費	156,017	68,908	0	87,109	15,199
	保健予防費	2,218,984	73,341	201,134	1,944,509	373,900
	小計	5,256,837	892,045	357,518	4,007,274	714,334
合計		50,234,324	27,134,486	2,005,663	21,094,175	3,529,222

# 10. 主な財政指標

## (1) 経常収支比率

### Point!

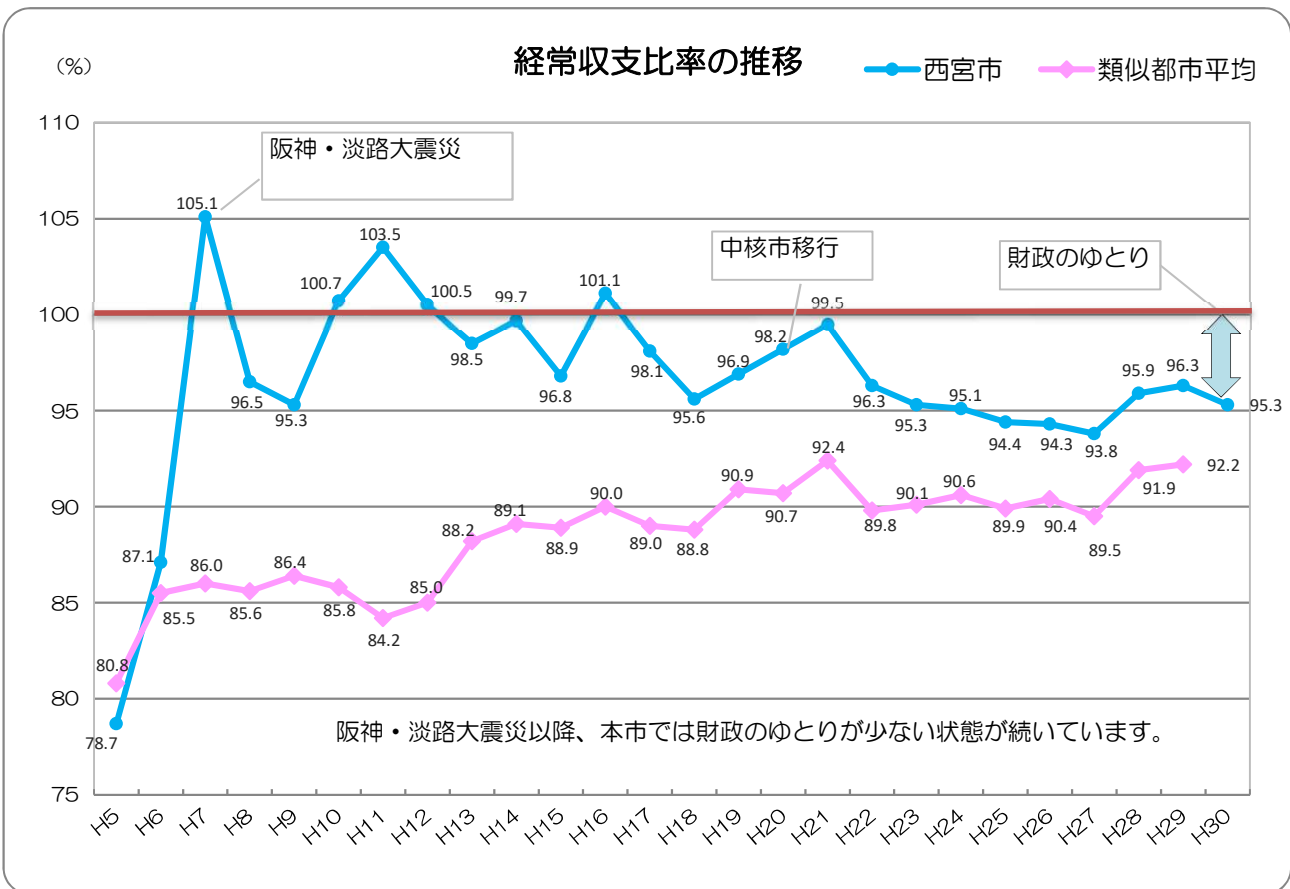
H30年度は95.3%で、前年度(96.3%)と比べて1.0ポイント改善しています。3年ぶりに改善しましたが、依然として類似都市平均より高い状況が続いています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、市税収入等の経常一般財源が、どれだけ充当されたかを示す比率です。数値が低いほど財政にゆとりがあると言えます。

これを家計に例えると、給料に占める食費やローン返済などの使い道の決まった支払いの割合で、比率が低ければ、旅行などの自由に使えるお金が多くなり、家計にゆとりがあるというものです。この比率が100%を超えると、給料だけではそうした決まった支払いができず、貯金の取り崩しや借金などに頼らなければ家計が成り立たない状態になります。

西宮市では、H30年度は95.3%で、前年度と比べて1.0ポイント改善しています。これは歳入において市税収入などが増額となり、歳出においても人件費の減や、公債費に充当する特定財源の増により、経常的な経費に要する一般財源が減額となったことなどによるものです。

類似都市と比較すると、歳出総額に占める義務的経費(人件費・扶助費・公債費)の割合が高くなっており、弾力性に欠けた財政構造になっています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。  
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

(2) 財政力指数

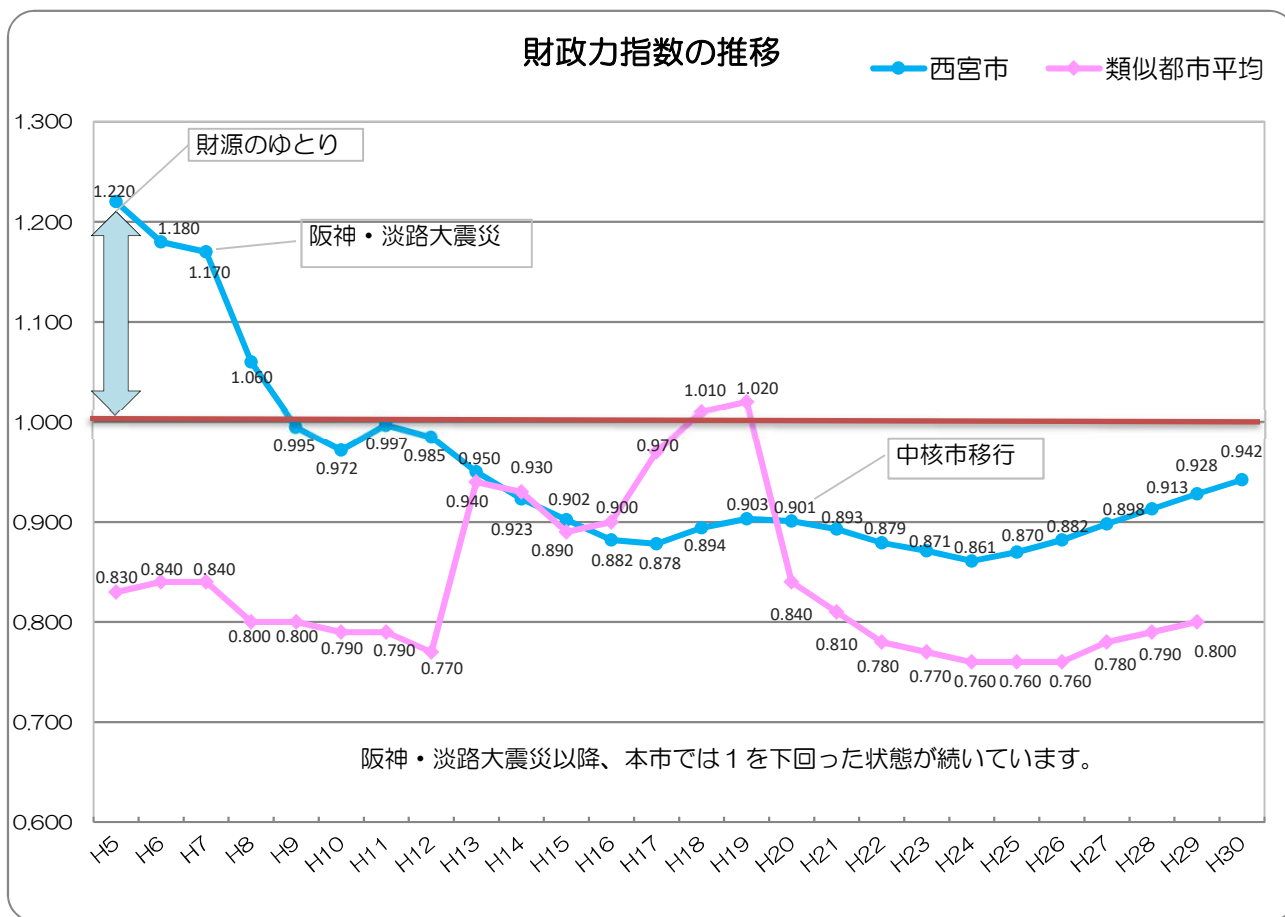
**Point!**

H30年度は0.942で、前年度(0.928)と比較すると0.014ポイント改善しています。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を同じ尺度で測るための指数で、普通交付税上の標準的な状態において徴収が見込まれる税収入(基準財政収入額)を標準的な行政を行った場合の財政需要(基準財政需要額)で除して得た数値の過去3年間の平均値をいいます。数値が大きいほど財政力が強いことを表しており、一般的に税収等が豊かで普通交付税の交付を受けない不交付団体は、この指数が1を超えることになり、財源にゆとりがあるということになります。

西宮市では、H30年度は0.942で、前年度と比較すると0.014ポイント改善しています。

阪神・淡路大震災以降、数値が低下しましたが、類似都市と比較すると、やや高い数値となっており、これは西宮市の財政基盤がやや強いことを示しています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。  
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

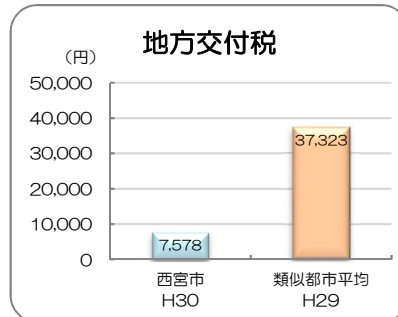
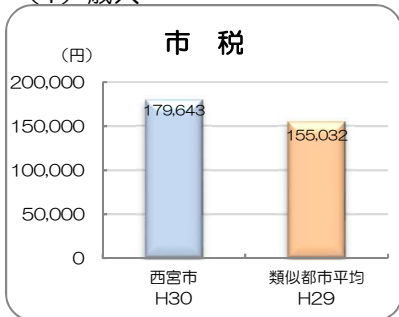
# 1 1. 市民一人あたりの決算額

類似都市との比較を行う為、普通会計の数値を用いています。

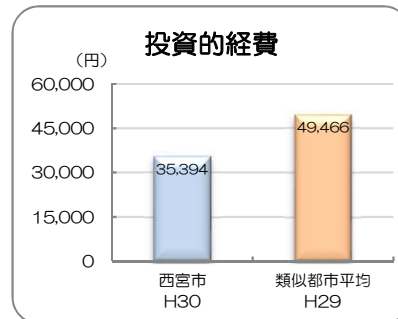
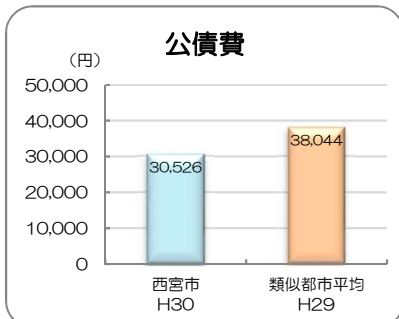
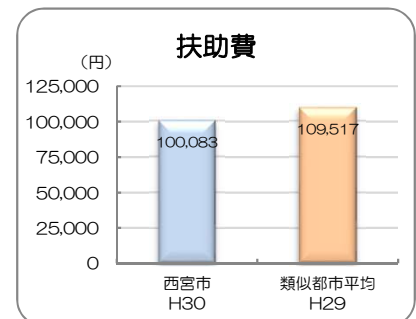
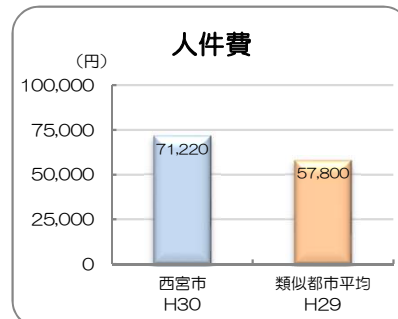
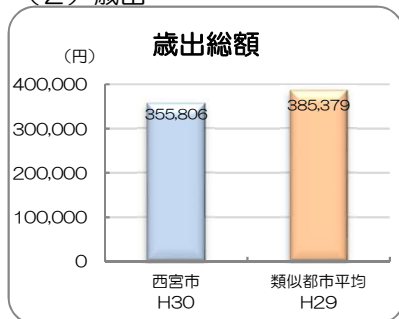
類似都市平均はH29年度財政状況類似団体比較カードのデータに基づいています。

西宮市（H30）の数値は住民基本台帳に基づく人口483,713人（H31年3月31日現在）より算定しています。

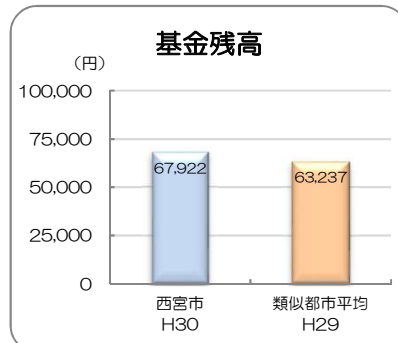
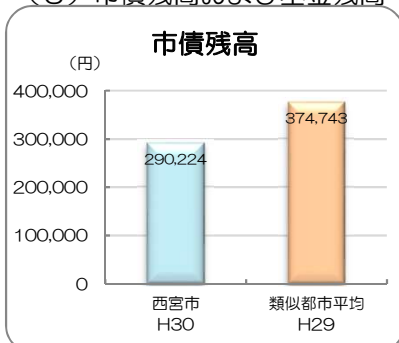
## (1) 歳入



## (2) 歳出



## (3) 市債残高および基金残高



### ～用語解説～

普通会計・・・地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なり、団体間の財政比較が難しいため、地方財政の統計上、統一的に用いられる会計区分のことです。西宮市では、一般会計のほか区画整理清算費、中小企業勤労者福祉共済事業、公共用地買収事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計を含み、会計間の重複額等を控除して一つの会計にまとめたものです。